

ホッとすると話

災害救助犬

”ピピ号

誕生

看護部長 松井とも子

我が家には2頭のラブラドル犬が居ます。一頭は五才のオス「うた」、もう一頭が三才のオス「ピピ」です。「うた」はうたたねのうた。ピピはおばあちゃんが名付け親です。ところで皆さん、「災害救助犬」って御存じですか？ 雪山での遭難、土砂崩れや倒壊家屋の下敷き、野山での行方不明等々、様々な災害場面でお得意の鼻と犬感で人を捜索する犬の事です。我が家のやんちゃなピピが訓練



ピピ散歩中



格君と訓練中

士さんの大きな努力の結果、災害救助犬2種に合格しました。災害救助犬の育成訓練はボランティアの人達によって毎週土曜日の午後、菊川市にある訓練場にて行われています。資格がとれる様になるまでに二年〜三年かかることが多い様です。雪山での訓練やヘリコプター搭乗訓練、模擬倒壊家屋での訓練と内容は複雑多岐ですが、基本は「絶対服従」。うちのピピ君はそこに時間を要しました。家庭では通常のワンちゃんと同じです。犬種も問いません。私はピピの行動範囲に体力の限界を感じ、リタイヤしましたが、格君(本名、高橋君)という頼もしい協力者を得ることが出来、訓練を続けています。彼はピピの指導手となるべくピピと一緒に訓練続行中です。皆さん応援して下さい。

新人ナース入院体験

患者様の気持を

大切に!



3西 小柳津朋子

入院体験では沢山の事を学ぶ事ができました。実際に病衣を着て配膳・下膳もやってみたり、ポータブルトイレでの排泄ではほんとうに患者さん達はいつもこれだけ周囲を気にしたりしているんだと感じました。私達看護師が簡単に「ポータブルして下さい。」と言っている事が患者さんには苦痛でもあるんだと思いました。また同じ部屋になった患者さんから病院生活や看護師についての話を聞いたり、患者さんたちとゆっくり会話をする良い機会になったと思います。今回知った患者としての気持ちをお大切に今後に生かしていきたいと思えます。



入院体験中

編集後記

家の一坪ほどのハーブ畑にカモミールの小さな白い花が満開です。甘いりんごのような香に癒されま

す。ラベンダー、タイム、ミント次々に緑が増し初夏を感じる毎日です。

(松下)